

## 総務厚生常任委員長報告

審査日	令和5年9月8日～15日
出席委員	金子 恵 堤 理志 岡田義晴 八木亮三 西岡克之
説明員	関係所管管理職並びに職員

### 議案第46号 長与町印鑑条例の一部を改正する条例

#### 【提案理由・主な内容】

印鑑登録証明書の窓口交付に関する規定について改めるとともに、電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の改正に伴い、印鑑登録証明書のコンビニ交付に関する規定を改めるもの。役場窓口において、印鑑登録証明書の交付申請をする際、本人申請に限り個人番号カードのみの提示でも、証明書の交付ができる旨の規定を追加。利用者証明用電子証明書を登載した移動端末設備（スマートフォン）を利用して、印鑑登録証明書の交付をコンビニエンスストアでも受けることができる旨の改正を行う。

以上の説明があった。

#### 【主な質疑】

質疑：スマートフォンを利用する場合、アプリケーションを入れておくのか。

答弁：マイナポータルから電子証明書を付与する登録を済ませてから使用することになる。

今回はアンドロイドのスマートフォンが対象となる。

質疑：スマートフォンを利用してマイナポータルから取得できるものは印鑑証明書のみか。

答弁：長与町では住民票、戸籍、記載事項証明、戸籍の附票、印鑑証明書が取得できる。

慎重に審査した結果、全会一致で可決すべきものと決した。

### 議案第48号 令和5年度長与町一般会計補正予算（第4号）

#### 【提案理由・主な内容】

歳入の主なものは、普通交付税の令和5年度の額の確定により、5億5,294万8千円の増額。また、令和4年度駐車場事業特別会計の精算に伴う剰余金121万円を受け入れた。

歳出の主なものは、ふれあいセンター体育館の照明工事に伴う費用の増額、同じく体育館2階通路の補修、ふれあいセンター2階の女子トイレ改修工事のための予算を計上。また、地域介護・福祉空間整備等交付金を活用して、災害発生時における高齢者施設等の安定的な電力確保を行うため、認知症高齢者グループホーム1施設、小規模多機能型居宅介護施設1施設に非常用自家発電設備の整備を行う。

地方債補正では、臨時財政対策債の発行可能額の確定に伴い、起債限度額を減額した。

以上の説明があった。

【主な質疑】

(総務部)

質疑：ふれあいセンターのLEDの照明の取り換えは配線の老朽化によるものか。また、どれくらい照度が上がるのか。

答弁：分電盤交換に伴い、配線工事も必要となる。照度は一般家庭の室内の明るさくらいで、現在よりも明るくなると考えている。

質疑：工事のタイムスケジュールはどうなるのか。

答弁：施工自体は3か月程度。1月ぐらいまでには整備したいと考えている。

(企画財政部)

質疑：交付税は見込みどおりだったのか。

答弁：歳入は、基本的に大きな乖離がないように見込んでいる。普通交付税は今年度25億円で決定が来ており、おおむね見込額どおりという見解を持っている。

(住民福祉部)

質疑：地域障害児支援体制強化事業補助金はひばり学級巡回支援に充当しているが、内容は何か。

答弁：ひばり学級の療育専門員が、幼稚園、保育園を回り、障害など気になる子供に対する対応等について指導を行うという支援になる。

質疑：地域障害児は何歳までが対象になるのか。

答弁：巡回支援で、実際に行っている子供は小学生ぐらいまでだが、児童福祉法の観点から18歳まで行っている。

(健康保険部)

質疑：地域介護福祉空間整備交付金は、定額補助ということで国から施設へ補助金が行くということで本町からの補助はないということか。

答弁：国の補助金をそのまま町から交付するため、町の持ち分はない。

質疑：町の負担はないが、長与町地域介護・福祉空間整備等補助金交付要綱に基づいて交付されるということか。

答弁：要綱に基づいて、申請を出してもらい決定するという事になっている。

質疑：今回、さまざまなメニューの中で非常用自家発電を整備、設置しなければならない理由、課題は何か。またどのような効果が期待できるか。

答弁：災害時に、停電が長く続く場合を考慮し、安定的に電力が供給できないことで介護に支障が出ないように対策を行うものである。

慎重に審査した結果、全会一致で可決すべきものと決した。

議案第49号 令和5年度長与町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

【提案理由・主な内容】

歳入歳出それぞれ1億886万9千円を追加し、補正後の総額を42億3,330万7千円とするもの。歳入では、電算システム改修に伴う特別調整交付金270万6千円を増額計上。歳出では、国民健康保険システムおよび健康管理システムの改修委託料として33

〇万円を計上。

以上の説明があった。

**【主な質疑】**

質疑：電算システム変更の理由と内容は何か。

答弁：令和6年1月より産前産後における保険料負担が軽減されることとなり、それに対応するためのシステム改修である。

質疑：口腔保健推進事業の一般会計への財源組み替えの内容は何か。

答弁：これまで母子保健事業で行っていた歯科健診やフッ化物塗布事業は、国保会計と一般会計で費用案分しており、国保会計には保健事業の補助を充当していた。今度新しく歯科保健事業について国から補助が出るようになった。これは、他に補助がある場合は出ないため、事業費を全額一般会計から支出することとした。

慎重に審査した結果、全会一致で可決すべきものと決した。

**議案第50号 令和5年度長与町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）**

**【提案理由・主な内容】**

歳入歳出それぞれ226万7千円を追加し、補正後の総額を、6億3,251万5千円とするもの。歳入では、前年度決算に伴い確定した繰越額226万7千円を計上。歳出では、前年度からの繰越金のうち、出納整理期間に収納した前年度分の保険料を長崎県後期高齢者医療広域連合へ納付するもので、226万7千円を計上。

以上の説明があった。

**【主な質疑】**

特記すべき質疑はなかった。

慎重に審査した結果、全会一致で可決すべきものと決した。

**議案第51号 令和5年度長与町介護保険特別会計補正予算（第1号）**

**【提案・主な内容】**

保険事業勘定は歳入歳出それぞれ2億1,697万7千円を追加し、補正後の総額を31億998万4千円。介護サービス事業勘定は歳入歳出それぞれ257万7千円を追加し、補正後の総額を3,037万5千円とするもの。保険事業勘定の歳入では、令和5年度交付金の確定に伴い保険者機能強化推進交付金194万4千円を減額計上。歳出では、予備費1億8,482万円を収支の調整として計上。介護サービス事業勘定の歳入では、前年度決算に伴い確定した繰越額257万7千円を計上。歳出では、収支の調整として、予備費に同額を計上。

以上の説明があった。

## 【主な質疑】

質疑：保険者機能強化推進交付金は使い道が幅広い。何に活用するのか。

答弁：一般会計、福祉課の高齢者交通費助成に充当する。

慎重に審査した結果、全会一致で可決すべきものと決した。

## 議案第52号 令和4年度長与町一般会計歳入歳出決算の認定について

### 【提案理由・主な内容】

歳入総額は154億4,288万6,127円で、前年度比6.9%の減少、歳出総額は142億9,453万3,846円で、前年度比6.3%の減少、歳入歳出差引き残額は11億4,835万2,281円となり、前年度よりも、およそ1億9,800万円減少した。

総務部総務課では道ノ尾駅に設置した平和モニュメント車輪・銘板の設置工事費として97万9千円を支出。契約管財課では、高田南土地区画整理事業の仮換地で町移管された町有地3件、未利用町有地1件の売却による普通財産売払収入9,151万1,488円。地域安全課では、長与町ふれあいセンター屋上防水工事に2,165万1千円を支出。また、自治会加入促進のための動画作成に137万5千円を支出。情報政策課は、庁舎内の会議室でWeb会議を開催するための通信回線・大型モニター等の整備に493万6千円を支出。秘書広報課では、イメージキャラクター商品等製作委託料としてフェイスタオル1,000枚を製作。31万2百円を支出した。

企画財政部財政課では、繰越金7億6,652万2,784円。減債基金積立金1億2万4,822円は、運用収入のほかに今後の公債費増加への対応として1億円を積み立てた。政策企画課では、結婚相談事業に138万円、移住・定住促進事業に361万4千円を支出。複合施設の整備のための地質調査、複合施設整備基本計画策定と設計プロポーザル実施に1,150万3千円を支出。税務課・収納推進課では、ご当地ナンバー導入に49万8千円を支出。

健康保険部健康保険課では、国民健康保険事業の安定運営のため、特別会計へ2億3,750万5千円を繰り出した。また、継続事業である健康ポイント事業に561万円を支出。介護保険課では、介護サービス施設57事業所に電気代・ガソリン代に対する補助金725万4千円を支出した。

住民福祉部高田保育所では、自然環境教育のための研修、野菜等の栽培実施に21万6千円を計上。こども政策課では、3歳児健診時に弱視の危険因子のスクリーニング検査のため、スポットビジョンスクリーナーを導入。また、伴走型相談支援、経済的支援を一体として実施した出産・子育て応援事業に3,278万円を支出。住民環境課では、ごみ収集委託費、し尿収集運搬処理費などを支出。福祉課では、国の施策である住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金などを計上。

会計課では、用品調達基金は封筒・請求兼領収書など庁舎内の分を一括購入。

議会事務局・監査事務局では、議会主催で開催した議員研修会講師謝礼、議会だよりの読者アンケートに係る謝礼を支出。

以上の説明があった。

## 【主な質疑】

### 総務部

#### （総務課）

質疑：県支出金の人権啓発活動地方委託事業委託金は、ほとんど教育委員会の活動に充当しているとのことだが、使途に制限があるのか。

答弁：趣旨としては国が全国的に一定水準の啓発活動を確保するという観点から地方公共団体に対して、その活動を委託するものになっている。制限やメニューは示されている。

質疑：教育委員会ではどのようなことに使われているのか。

答弁：人権標語集の作成をしている。内容は、人権作文、人権問題に関する標語、各小中学校から募集したものを掲載したものとなっている。

質疑：参議院議員選挙で投票所パソコンレンタル料の項目がなくなっている。理由は何か。

答弁：予算計上時は、各投票所の投票システムのパソコンレンタルを想定していた。結果的に情報政策課に保有しているパソコンで対応できたため、レンタルを行わなかった。

#### （契約管財課）

質疑：長与駅コミュニティホールは、令和4年度はどのくらいの申請があったのか。また、年々どのような傾向なのか。

答弁：11件、使用日数としては42日間となる。令和2年度、3年度はコロナ禍で落ち込んでいた。令和4年度以降については回復の傾向で、今後も展示等の活用が見込まれるというふうに考えている。

質疑：光熱費に関しては新電力に切り替え経費削減の努力をしていたが、現在は電力会社と変わらない金額になってきている。今後の見通しと対応はどうか。

答弁：今後の展望について危惧している状況である。直近の節電対策として令和7年度以降に庁舎の電灯のLED化を検討しており、階層ごとにするのか、一度にするか研究を行い、節電対策に取り組んでいきたい。

質疑：大手電力会社も電気料金が決まっているわけではない。見積もりは取っているのか。

答弁：燃料費高騰の実態もあり、せめぎ合いの状況である。今後も大手電力会社、新電力会社から見積もりを取り、検討し、最小の経費で進めていきたい。

#### （地域安全課）

質疑：石油貯蔵施設立地対策等補助金で購入したポータブル蓄電池とはどういうものか。

答弁：災害時に電源を確保するもの。避難所での利用、スマートフォンの充電、LED電球を使った照明などを想定している。

質疑：自治会ベビーチャンネルを作っているが、あえて長与町公式ではなく別のチャンネルを作った意図はどのようなものか。

答弁：自治会に特化した動画を配信するために専用のチャンネルを設けた。今後も自治会関係のことを発信していきたい。

質疑：ファイナンシャルプランニングによる相談で生活改善がなされたのか。

答弁：事業が発足したときには生活困窮者の相談が主だったが、現在は家計の収支見直しなど困窮者以外の相談がほとんどである。

（情報政策課）

質疑：デジタル基盤改革支援補助金は充当先の規定があるのか。

答弁：補助要綱によって、具体的に対象が決まっており、用途が限定されている。

質疑：庁舎内でWeb会議ができるように、環境を整備したということだが実績はあるのか。

答弁：ディスプレイ等を設置した七つの会議室の延べ利用件数は約200件で、従来よりかなりの回数、頻度になっている。

質疑：Web会議の内容はどのようなものか。

答弁：県の会議、また、全国の会議などに参加できるようになった。遠方に行っていた会議がほぼオンラインに切り替えられている。

（秘書広報課）

質疑：イメージキャラクター商品を作る場合、ミックンファミリー、ミックンのお友達シリーズのどちらに重きを置いていくのか。

答弁：ベースはミックン原型を使っていくが、変化をつけた方が親しみやすい。ミックンファミリーは権利が業者にあるため思うように使えない部分があるが、職員が独自で印刷する部分に関しては自由に使っていいことになっている。時と場合にに応じて使っていく。ミックンのお友達シリーズもサブキャラクターということで長与町を盛り上げられたらと考えている。

質疑：ミックンのタオル1,000枚を作成したが何に使ったのか。

答弁：シーサイドマルシェなどで一般販売をしている。また、自治会の敬老会などに利用してもらっている。

企画財政部

（財政課）

質疑：法人事業税交付金640万円増加の理由は何か。

答弁：法人事業税の一部を財源として、県下各市町の従業員数に応じて市町村に交付するものである。令和3年の割合は、法人税割額が3分の2、従業員数割3分の1で案分をされていたものが、令和4年度は、法人税割が3分の1、従業員数割が3分の2と案分比率が変わったため、長与町に有利に働き、法人事業税交付金が多く入ってきたという結果になっている。

質疑：経常収支比率が91.2%は硬直化した状態であるという内容が監査委員の意見書にあったが、その要因は何か。

答弁：歳出面では、会計年度任用職員の報酬額などの引き上げにより、人件費が増加していること。および、原油価格の高騰に伴い施設の光熱費などが上昇したことで物件費の増加が顕著であった。歳入面では、臨時財政対策債が大きく減少したことにより比率が下がる方に働いた。

質疑：譲与税、利子割交付金、地方交付税などが減額になっているが要因は何か。

答弁：利子割交付金、配当割交付金、株式譲渡所得割交付金等については、主に景気に左

右される。また、地方交付税に関しては国の財力の問題である。

(政策企画課)

質疑：町主催の婚活イベントで結婚した例がないとのことだが、毎年予算を使っているが、それだけの意義があるのか。見直しなどの検討はしていないのか。

答弁：以前は社会福祉協議会に委託を行い、そこでの婚活イベントで結婚したという報告があった。町主催は令和2年度からだが、長与町の方の参加が少ない。新たな取り組みを検討している。

質疑：新図書館と健康センターの複合施設についてのプロポーザル審査委員に業者からのアプローチがあった場合、接待等について、制約制限を設けているのか。

答弁：プロポーザルの実施要領の中で、参加する事業者については審査員と全くコンタクトをとってはならないという規定を設けており、違反した場合は失格要件の規定を設けている。

質疑：移住定住促進事業で、長与町に移住した人の決め手となった理由は何か。

答弁：もともと長与町出身など縁があった人が移住しているという結果である。

(税務課・収納推進課)

質疑：還付金の内容は何か。

答弁：令和3年度までに課税をした分に対する訂正があった場合の還付金になる。町県民税、法人町民税の予定納税等に係る分の還付金、固定資産税、配当割株式譲渡所得割の還付金が主なものである。

質疑：ご当地ナンバープレートは300枚作成しているが、なくなった場合は通常のナンバープレートになるのか。

答弁：ご当地ナンバープレートを主として進める予定にしている。

健康保険部

(健康保険課)

質疑：健康ポイント事業の参加者数が平成30年と比べて減っている。理由は何か。

答弁：この事業は3年間、参加ができることとしている。4年度は目標の500人の新規参加者がいなかったため、参加者数が減っている。

質疑：1度参加したら、同じ人は二度と参加できないということか。

答弁：事業の目的は健康習慣を身につけるものであり、3年の間に歩く習慣や健診の受診などを習慣化し、卒業後も自分自身で取り組んでもらうことを目標としている。

(介護保険課)

質疑：介護サービス施設等原油価格・物価高騰緊急支援補助金はどこに補助したのか。

答弁：グループホーム、特別養護老人ホームなど入所系と通所系の施設に電気代を補助。また、訪問系、相談系の施設にはガソリン代を補助した。

住民福祉部

(こども政策課・高田保育所)

質疑：新型コロナウイルス感染症対策臨時交付金で副食費の食材の高騰分を補助した。今後、交付金がなくなった場合、どうなるのか。

答弁：今年度から月4,700円の副食費を各家庭から徴収している。さらに、今年度も

1人1食当たり20円の補助がある。今後は、今年度の材料費の実績を見ながら、予算に計上していきたい。

質疑：高田保育所の職員を対象に自然環境教育研修を実施したが内容はどのようなものか。

答弁：子供たちが活動した内容と同じものを実際に体験し、指導方法、声かけや、対応の仕方について学んだ。内容としては、五感を使って自然を感じるなど感性を開く活動を行った。

質疑：児童虐待防止に取り組んでいるが、実際に虐待にあった子どもたちの問題はどのように解決するのか。

答弁：緊急性がある場合は、児童相談所での一時保護対応など相談機関へつないでいる。

質疑：予防接種助成費はHPVワクチンを自費で接種した人への払い戻し分か。

答弁：HPV接種の償還払いに加え、里帰り時に子どもを連れて県外の病院で予防接種を受けた場合はいったん自費で払い、その後、町に請求を行い、町の上限で支払うことになる。

（住民環境課）

質疑：コンビニで住民票などを取得する場合、時間が限られているが、全国的に同じなのか。

答弁：全国統一になっている。

質疑：コンポストモニタリングの終息の見通しは立っているのか。

答弁：現段階では予測ができていない。見込みが立たない状況である。

質疑：きれいなまちづくり事業委託料の業務内容はどのようなものか。

答弁：委託先はシルバー人材センター。内容は道路の清掃等の巡回、常設倉庫の資源化物の回収、ステーションのクリーンボックスの補修などである。

（福祉課）

質疑：障害者相談支援事業では1,836件の相談があったとの説明だがどのような相談があるのか。

答弁：長与町社会福祉協議会の相談支援事業所ぬくもりと、長崎市のなごみの里で相談を受けてもらっている。ここでは、障害を持っているが何をしたらいいのか分からない、どこに行けばいいか分からないなど、入り口の相談を受けてもらっている。計画、支援サービスが必要な場合は、相談支援事業所から施設、または計画を立てるなど段階を踏んでいくことになる。

（会計課）

質疑：働き方改革の一環でAIなどを活用し業務効率化を進めているが、会計課では使える余地はあるのか。

答弁：情報政策課が昨年度から立ち上がっている。その中で、RPAなど事務の効率化に向け、請求書の電子化など見直しができないか協議している。

（議会事務局）

質疑：議事録の作成は、AIなどが発達して、精度が高いところがあるのではないか。それらを調査研究し、現状より金額が高くて、文字変換が正確になれば経費を逆に削減できるのではないか。その方向で考えられないのか。

答弁：今のシステムで、もう少し改善できるところがないか、チェック体制の見直しを検討する。あわせて研究を行う。

（監査事務局）

質疑：監査日数はどれくらいか。

答弁：令和4年度は56日間だった。

慎重に審査した結果、全会一致で認定すべきものと決した。

議案第53号 令和4年度長与町駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について

【提案理由・主な内容】

歳入総額8,987,198円、歳出総額7,776,475円、差引額1,210,723円。  
以上の説明があった。

【主な質疑】

質疑：嬉里駐車場の時間駐車は有人で徴収しているが、現金以外も使えるのか。

答弁：現金か回数券（1,100円分を1,000円で販売）を購入してもらう。電子マネーは使えない。

質疑：自動化、24時間化することで収益的には良いのではないか。（4年前にも提案）

答弁：施設の管理計画で、2045年までを目標年度として維持する施設である。それを踏まえ、業者に初期投資を含めマネジメントをしてもらっている。苦情処理、トラブル処理、料金回収を含めて年間400万円、設備代、防犯カメラなどを入れて5年間で2,000万円のリースで見積もりをもらっている。

今後、商店街、利用者のお話を聞きながら判断していきたいと考えている。

慎重に審査した結果、全会一致で認定すべきものと決した。

議案第54号 令和4年度長与町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

【提案理由・主な内容】

歳入は、43億3,099万4,631円、前年度比1.2%の増額。不納欠損額は656万6,616円、収入未済額は9,473万9,222円で、前年度と比較して、1,096万1,479円の減となっている。歳出は、42億2,418万9,833円、前年度比1.3%の増額。不用額は6,038万3,167円。歳入歳出差引残額1億680万4,798円は全額を翌年度へ繰り越すこととしている。

以上の説明があった。

【主な質疑】

質疑：コクホ・ライン／調交システム変更の内容は何か。

答弁：未就学児の均等割の保険税を軽減するものである。

質疑：特定健診受診率、特定保健指導の実施率が上がれば、県が算定する長与町の保険料

率が下がるということか。

答弁：保険料率に影響はない。県の努力支援制度補助金に影響する。

質疑：基金が積み増しされ5億4千万円ほどになっている。以前、県の激変緩和措置がなくなったときに、基金を活用して住民の保険料保険税が上がらないようなことに使っていきたいという説明があった。また、基金を活用して、引き下げること検討してはどうかという提案もなされた。現段階での担当課の考え方はどうか。

答弁：激変緩和措置がなくなった後は、基金を取り崩さなければいけない状況が来ると思う。それを考えた場合、保険料を下げるということは考えにくい。

質疑：令和3年度と比べて、悪性新生物がんが増えている。また、精神も4年度は12件と倍以上伸びている。特定健診によって精神の部分は改善がしづらいと思うが、どう対応するのか。

答弁：国から縦割りではなく福祉介護、健康増進の担当を含め、総合的に相談に乗る窓口をはっきりさせるようにという指針がきている。それに向けて進んでいく。

慎重に審査した結果、全会一致で認定すべきものと決した。

#### 議案第55号

令和4年度長与町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

##### 【提案理由・主な内容】

歳入は、収入済額合計は5億9,893万5,523円、前年度比6.6%の増額。不納欠損額16万3千円、収入未済額は28万3,972円。歳出では、支出済額合計、5億9,666万7,523円で前年度比6.5%増、不用額は1,289万4,477円となっている。

以上の説明があった。

##### 【主な質疑】

質疑：令和4年から後期高齢者の保険料が上がっている。それにより滞納の方に影響が出たのか。

答弁：収納率が前年度とほとんど変わらないので数字的には影響は出ていない。しかし、厳しくなったという実感は持たれているのではと思う。

質疑：本町の後期高齢者数の推移はどうか。

答弁：今後の見込みは後期高齢者医療広域連合で推計値を取っている。後期高齢者が増えていくことは間違いない。

慎重に審査した結果、賛成多数で認定すべきものと決した。

#### 議案第56号 令和4年度長与町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

##### 【提案理由・主な内容】

保険事業勘定の歳入では、第1号被保険者保険料の収入済額は7億1,512万6千円。前年度比814万5,960円、1.2%の増。収納率は現年度分が99.93%、前年度比

0.09ポイントの増。滞納繰越分は33.76%、前年度比13.83ポイントの増。介護保険料全体では、99.63%、前年度比0.3ポイントの増になっている。歳出では、一般介護予防事業としてめだか85、脳トレ教室、いきいきサロンなどの委託料を計上。介護サービス事業勘定の歳入は、ケアプラン作成2,799件。ケアマネジメント作成2,483件に対する収入。歳出は、地域包括支援センターの介護支援専門員の人件費と、その業務に係る経費。また、民間事業所へのケアプラン作成業務委託料および介護予防ケアマネジメント作成委託料などを計上している。

以上の説明があった。

#### 【主な質疑】

質疑：地域住民グループ支援事業補助金、サポーターポイント制度交付金は100万円ほどの不用額が出ている。理由は何か。

答弁：地域住民グループ支援事業補助金は高齢者のいきいきサロンが対象になる。上限10万円の補助で自治会単位の50カ所ぐらい作りたいと考えているが、コロナの影響などで増えていない。サポーターポイント制度交付金は、町内の介護施設でのボランティア活動に交付金を出しているが、こちらもコロナの影響で、登録施設が、26カ所中、実際の受け入れは令和4年度は2施設であり、サポーターが活動する場がなかった。同じように、自宅での手伝いなども対象としているが、やはりコロナの影響もあり、少ないという状況である。今後は、増やしていきたいと思っている。

質疑：一般介護予防事業は、歩いて通える場所にあるのが理想だと言われている。交通手段など、移動のことを役場も考えてほしいという意見があった。どう考えているか。

答弁：自身で通ってもらうということで予算化していない。また、送迎支援等は考えていない。今後の検討課題としている。

慎重に審査した結果、全会一致で認定すべきものと決した。